

令和7年度
第1回 大野市文化財保護審議会
会 議 録

日 時 令和7年5月15日（木）13：30～15：20
場 所 学びの里「めいりん」 2階 洋室（大）

大野市文化財保護審議会

出席者 ○委員 7 名 ○事務局 5 名

会長あいさつ

福井新聞の論説で「太郎兵衛火事」とそれとつながる防火の記事を読んで良い論説だと感じた。

今回は項目も多いので、事務局には順序良く説明等をお願いする。

協議事項

(1) 年間行事計画(案)について

【協議結果】 計画案のとおり。

- ・ 審議会は必要に応じて随時開催。
- ・ 文化財研修(県内)については、大安禅寺(令和の大修理)、平泉寺御開帳関係を候補に調整して進める。
- ・ 文化財防火査察は近年の開催状況等も鑑みて査察先を調整して進める。委員において査察先の提案があれば、後日事務局まで連絡をお願いする。

(2) 本願清水イトヨの里運営協議会委員候補者の推薦について

【協議結果】 高津委員を推薦(継続)

報告事項(※資料に沿って事務局より報告後、質疑応答)

(1) 令和7年度 文化財保護関係主要事業

① 予算概要

【主な質疑等】

委員: 「文化財保護事務経費」の中の史料整理職員とは。

事務局: 市史編纂事業で収集した古文書資料を整理し、許諾をいただいた古文書の公開や新たな収集等の作業を行っている。

委員: 「県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業」の補助分担は県 1/2、市 1/4 で地元負担は 1/4 か。

事務局: そのとおりである。

委員: 「無形文化財保存育成事業補助」の予算額が減っているのは、どこかの団体が今年度活動休止になったということか。

事務局: そういうことではなく、これまで補助対象の 5 団体には一律 20,000 円を補助し、そのうち要望のある 2 団体にはさらに加算して補助を行っていたが、今年度はその加算分が 1 団体不要ということで予算が減っている。なお、現在、民俗芸能の団体では「平家踊保存会」が活動を休止しており、理由は後継者不足によるものである。

②大野市文化財保存活用地域計画の修正について

【主な質疑等】

委員：地域計画推進協議会と審議会との関係は。審議会への報告はあるのか。また、あるとすれば、どの段階での報告になるのか。

事務局：審議会にもどこかの段階では報告をと考えているが、どの時点であるということは今後作業を進めていく中で検討していく。先ほど審議会の行事計画の協議をしたが、状況によっては追加で審議会を開催させていただくこともあるかと思うが、そこは会長と相談させていただき進めていきたい。

委員：計画策定時によく協議して策定しているので変更はほとんどないと思うが、一般の方からの意見があったりするのか。

事務局：今回は前期の計画期間が今年度で終わることによる後期に向けた時点修正であり、例えば、計画策定時からこれまでの間に指定文化財の数が変わったことにより記載内容の修正が必要といったようなことがメインになると思っている。一般の方からの意見があるというわけではない。

③県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業について

【主な質疑等】

委員：事業費は60万円ほどであったが、そのぐらいでできるのか。

事務局：伐採木については買取をしてもらうため、その分の収入を差し引いての事業費となっている。

委員：実施後の効果判断は次年度予算をもって行っていくのか。

事務局：今回の整備は樹木を対象にしたものなので、整備の効果は5年先、10年先に現れる。県の指定文化財であり、県と相談しながら経過を見ていくことになる。

④神仏調査について

【主な質疑等】

委員：8月の二次調査の結果、注目すべきものはあったか。

事務局：時代的に江戸時代以前の物もあった。

委員：一つの寺社で持っている神仏の数が多いのは合祀によるものか。

事務局：合祀による影響かと思われる。

委員：地域計画では計画期間が令和12年度までとなっているが、この調査の事業年度としてはどうか。令和12年度まででは収まりきれないと思うが。

事務局：計画期間にこだわらず、調査を丁寧に実施し、時間をかけて成果をまとめていきたい。

委員：市や県、国の指定に値するようなものもあるか。

事務局：あるのではないかと思う。ただし、文化財指定は一般的に所有者

を明らかにする必要があるが、現在の管理体制では盗難の恐れがあり、指定を進めることは難しい。今回の調査もこの調査結果を市の方で勝手に公開したりしないという約束で行っている。調査結果の取り扱いには注意が必要である。

⑤令和6～7年度の化石の取り組みについて

【主な質疑等】

委員：共同調査の部分で、県立大学に恐竜学部ができたが、そことの関りはどうか。また、その学科で教員は何人ほどいるのか。

事務局：現在、県立大学の恐竜学コースの大学院生が調査補助員としてホロッサでの集中発掘調査に参加している。学部生はまだ参加していないが、今後、調査補助員としての役割が学部生へシフトされていくのではと思われる。また、学部には20名ほどの先生がいる。

委員：化石調査ボランティアは今後何名くらいにするつもりか。あまり大所帯になっても受け入れ対応側の負担が大きくなっていくので、無理のない規模がいいと思う。

事務局：現在、人数制限等は考えていない。実際には登録は増えても、退会される方もいるし、実際作業に参加される方も固定化されてくるので、そのあたりの動向も見ながら考えていきたい。

⑥主な開催予定企画展について

【主な質疑等】

委員：広報の方法はどうか。様々な世代への発信や費用面のことなどいろいろなことを考慮しながら、より効果的に行っていかなければならないは大変である。

事務局：今回の企画展「蘭学の牽引者 伊藤慎蔵」については、チラシ（市役所内プリンターで印刷）を作成し、市関係各所や県内の博物館、また、蘭学ということで大野高校にも生徒達への広報ということで配布した。また、市の公式HPやLINE、また、当課で運用しているFacebookでも情報発信を行っており、福井新聞や日刊県民福井といった報道機関にも情報を提供している。

委員：蘭学書については大野高校にほとんどがあるという事実を大野高校の生徒自身がほとんど知らないという状況かと思う。もっと強い自覚をもってもらいたい。また、目録などのデジタル化もされていないのではないか。

事務局：今回の企画展は大阪大学適塾記念センターと協力し、あちらでも「伊藤慎蔵」を扱った企画展を開催するが、一緒にその資料を調べに大野高校に行った時にそういった会話もあった。今後、何か変えられればと思う。また、目録等のデジタル化はされていなか

った。

(2) その他の報告

⑦国指定天然記念物「専福寺の大ケヤキ」再生事業について(令和6年度実施)

【主な質疑等】

特になし

⑧指定文化財及びおおの遺産の状況(令和6年度)

【主な質疑等】

委員：年中行事の分野で「上据区の田休み」など時期が書かれていないが記載されている方がいいかと思う。また、名称だけからだ田休みが認証されたように感じてしまうがどうか。

事務局：田休みについては6月15日ぐらいになる。田休み自体は一般的なもので、認証の内容としては、上据区が田休みを使って行っている信仰行為を対象として認証している。

⑨その他

特になし

大野市文化財保護審議会

令和7年5月15日（木）午後1時30分から
学びの里「めいりん」 2階 洋室（大）

1 会長あいさつ

2 協議事項

(1) 年間行事計画（案）について … 資料1

- ・文化財視察研修（県内）
- ・文化財防火査察等

(2) 本願清水イトヨの里運営協議会委員候補者の推薦について … 資料1

3 報告事項

(1) 令和7年度 文化財保護関係主要事業 … 資料2

(2) その他の報告 … 資料2

4 その他

【協議事項 資料】

(1) 年間行事計画 (案)

月	内 容	備考 (前年度)
4 月		4/22 第 1 回審議会
5 月	5/15 審議会	
6 月		
7 月		
8 月		
9 月		
10 月	} 審議会、文化財視察 (県内) (予定)	
11 月		11/22 第 2 回審議会、県内研修
12 月		
1 月	1/ 文化財防火訓練 1/ 文化財防火査察	1/23 文化財防火訓練 1/24 文化財防火査察 ※1/26 文化財防火デー
2 月		
3 月		

・文化財研修 (県内) 研修先候補一覧

(北方面)

行先	市町	備考
平泉寺御開帳記念イベント	勝山市	5 月 23 日～25 日 平泉寺にて御開帳 (式典、イベント等あり)
		4 月 26 日～8 月 31 日 勝山城博物館にて「(仮) 白山と平泉寺を訪れた人 -平泉寺と御開帳-
		4 月 26 日～9 月 28 日 白山平泉寺歴史探遊館 まほろばにて「(仮) 石づくりのまち・平泉寺 -その技術とくらし-
		4 月 26 日～9 月 28 日 はたや記念館 ゆめおーれ勝山にて「(仮) 勝山のたばこ・生糸・繊維産業」
大安禅寺	福井市	令和の大修理 (平成 30 年 11 月～令和 14 年頃) 前期が完了予定
福井県立歴史博物館	福井市	10 月 18 日～11 月 24 日 特別展「越前・若狭 異国との出会い -奈良・平安時代を中心に-
あわら市郷土歴史資料館	あわら市	7 月 5 日～8 月 31 日 夏季企画展「南稻越遺跡発掘調査展」
		10 月 4 日～12 月 7 日 秋季企画展「(仮) 越前瓦展」

(南方面)

行先	市町	備考
福井県立若狭歴史博物館	小浜市	10月25日～11月24日 特別展「山のほとけ、村のほとけ」
敦賀市立博物館	敦賀市	10月17日～11月30日 特別展「つるがのみほとけ ー海辺の祈り、山里の祈りー」

(2) 本願清水イトヨの里運営協議会委員の推薦

推薦委員：_____

推薦理由：任期満了

任 期：令和7年7月1日～令和9年6月30日

【報告事項】

(1) 令和7年度 文化財保護関係主要事業

①予算概要 … 資料2-1

②大野市文化財保存活用地域計画の修正について … 資料2-2

③県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業について … 資料2-3

④神仏調査について … 資料2-4 [※防犯等の問題上、HP公開時は非公開]

⑤令和6～7年度の化石の取り組みについて … 資料2-5

⑥主な開催予定企画展について … 資料2-6

(2) その他の報告

⑦国指定天然記念物「専福寺の大ケヤキ」再生事業について（令和6年度実施）

… 資料2-7

⑧指定文化財及びおおの遺産の状況（令和6年度） … 資料2-8

⑨その他

令和 7 年度 文化財保護関係主要事業（予算概要）

（千円）

事業名	R 7 年度	R 6 年度	増減	事業内容
文化財保護事務経費	4, 1 0 0	3, 7 7 3	3 2 7	文化財保護に係る事務経費 / 史料整理職員の報酬
文化財保護審議会経費	3 7 0	3 7 0	0	文化財保護審議会の開催 / 文化財視察（県内） / 防火査察
旧橋本家管理運営経費	2, 0 1 9	3, 3 8 8	- 1, 3 6 9	施設維持管理業務委託
文化財環境保全事業	8 1 1	1, 9 4 1	- 1, 1 3 0	県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業の補助 / 仏像神像調査 / 指定文化財の監視
文化財保存活用地域計画推進事業	1 5 3	7 2	8 1	文化財保存活用地域計画推進協議会の開催 / 文化財保存活用地域計画の変更
越前大野城跡石垣修復事業	—	3, 2 1 2	- 3, 2 1 2	[※令和 6 年能登半島地震の影響で崩落した石垣の修復]
埋蔵文化財発掘調査事業	7 6	7 6	0	埋蔵文化財包蔵地内での開発対応
伝統文化伝承事業	2 8 7	2 8 7	0	結の故郷伝統文化認証審査会の開催 / 結の故郷伝統文化伝承事業補助金
化石保全事業	1, 8 0 5	1, 4 1 5	3 9 0	化石保護監視 / 県共同発掘調査 / 企画展の開催 / 日本古生物学会研究発表
無形文化財保存育成事業補助	2 7 0	3 2 0	- 5 0	無形文化財保存育成事業補助
文化財保護関係団体負担金	5 0	5 0	0	全国史跡整備市町村協議会年会費
	9, 9 4 1	1 4, 9 0 4	- 4, 9 6 3	

文化財保存活用地域計画の変更について

文化財保存活用地域計画の計画期間は令和4年度から12年度までで、令和7年度が前期計画期間の最終年度となる。
そのため、令和7年度に、前期計画期間の総括を行い、計画の時点修正や措置（事業）の見直しなど、必要な変更を行う。
（※文化財保存活用地域計画推進協議会にて協議）

【見直しスケジュール】

5月～6月	第1回協議会	・令和6年度進捗確認、令和7年度措置（事業）スケジュール、計画見直しについて説明
6月～9月	調整	・計画の時点修正 ・庁内関係課の後期計画期間措置（事業）内容の変更作業 ・文化財保存活用地域計画推進協議会委員の意見反映作業
10月	第2回協議会	・前期計画総括（案）・計画変更（案）への意見徴集（市長まで経過報告）
11月	定例教育委員会	・前期計画総括（案）・計画変更（案）経過報告
12月	第3回協議会	・前期計画総括（案）・計画変更（案）の確認（市長まで経過説明）
1月	定例教育委員会	・前期計画総括・計画の変更議案上程（教育委員会での承認）
2月	全員協議会	・前期計画総括・計画の変更報告
3月	報告・広報	・（※）県・国へ変更報告 ・市ホームページに前期計画総括と計画の変更概要版を掲載 ・計画配布先へ前期計画総括と計画変更概要版を送付

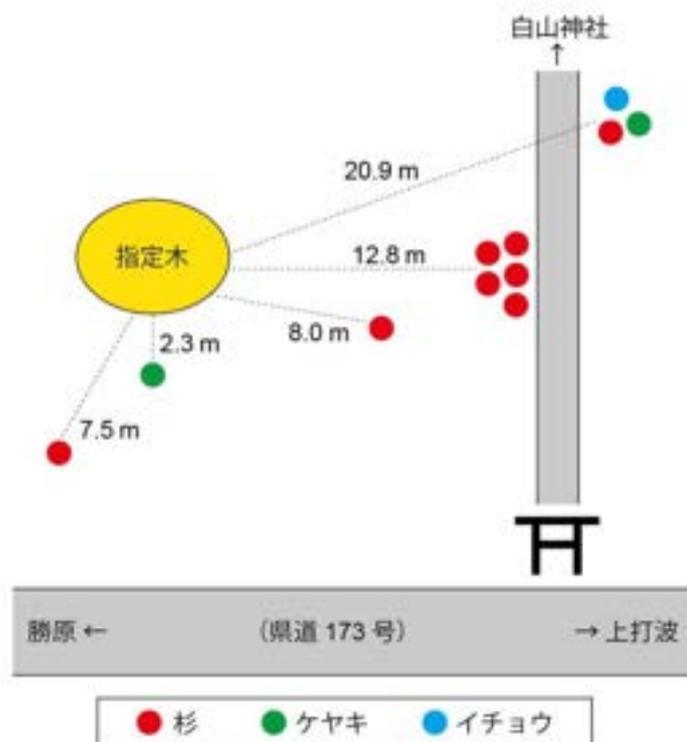
（※）認定を受けた文化財保存活用地域計画を変更しようとするときは、軽微な変更を除き、文化庁長官の認定を受けなければならない。（文化財保護法第183条の4）

軽微な変更を行った場合は、都道府県及び文化庁へ情報提供することが望ましい。（文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画作成等に関する指針IV-5）

軽微な変更とは、①計画期間の変更 ②市町村の区域内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更 ③地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更 以外の変更をいう。

県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業

指定木周辺の高木によってできた日陰で光不足が起きており、樹勢の衰退が懸念される。東側に長く張っている枝の光不足を解消することを目的に、日陰を発生させている高木を伐採し、周辺木の整備を行う。事業期間は、令和7年度の1年間。



令和 6 ～ 7 年度の化石の取り組み

1 中部縦貫自動車道大野油坂道路整備工事
(1) 大谷トンネル



内容：令和 6 年 9 月に大谷側坑口から 2 5 9 5 m 地点の岩石確認。
成果：千枚岩、緑色岩を確認。

2 福井県・大野市共同調査



R 6 フィールド調査 (伊月化石壁)



R 6 集中発掘調査

年度	内容	実施日	場所
R 6	フィールド調査	4月16日	伊月化石壁
		5月23日	前坂
		5月30日	智奈洞谷
		7月2日	下大納
		7月23日	上打波
		10月3日	田茂谷
	7月29日、8月22日、10月10日	下打波	
	集中発掘調査	9月2日～9月6日 (5日間)	和泉地区
R 7	フィールド調査	時期未定	下打波、伊月化石壁など
	集中発掘調査	9月 (5日間予定)	和泉地区

3 化石調査ボランティア「大野化石調査隊」



R 6 入隊希望者向け説明会

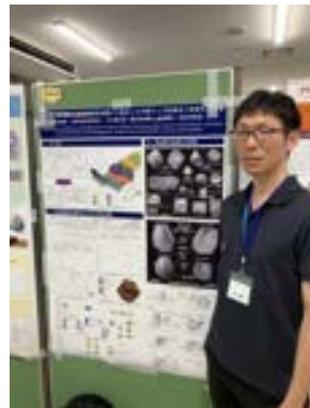


R 6 発掘調査

	実施日	内容	参加者数
R 6	4月20日	入隊希望者向け説明会	14人
	5月18日、6月15日、7月27日、8月17日、9月21日、10月26日	発掘調査	114人
R 7	4月12日	入隊希望者向け説明会	18人
	5月～10月（各月1回 計6回）	発掘調査	

4 学会発表

- (1) 福井県大野市の九頭竜層群貝皿層より産出した中期ジュラ紀海生二枚貝化石群集
 学会名：日本古生物学会2024年年会（高知大学）
 開催期間：令和6年6月21日（金）～6月23日（日）
 発表者：酒井佑輔（大野市教育委員会）・中山健太郎（福井県立恐竜博物館）・安里開士（福井県立恐竜博物館）



- (2) 福井県大野市における中部縦貫自動車道九頭竜トンネル工事で産出した中期ジュラ紀貝皿植物群の新標本
 学会名：日本古生物学会2025年年会（北海道大学）
 開催期間：令和7年6月21日（金）～6月23日（日）
 発表者：酒井佑輔（大野市教育委員会）・寺田和雄（福井県立恐竜博物館）・湯川弘一（福井県立恐竜博物館）・築地祐太（福井県立恐竜博物館）

- (3) 福井県大野市の下部白亜系伊月層から産した新たなトカゲ類化石
学会名：日本古生物学会2025年年会（北海道大学）
開催期間：令和7年6月21日（金）～6月23日（日）
発表者：築地祐太（福井県立恐竜博物館）・柴田正輝（福井県大学恐竜学部）・宮田和周（福井県立恐竜博物館）・酒井佑輔（大野市教育委員会）

5 展示

- (1) 令和6年度くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ企画展「ラスト・ジュラシック」
開催期間：7月13日（土）～11月4日（月・振替休日）
休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日
内 容：ジュラ紀から白亜紀に向かい、福井県の恐竜時代がどのように変化しているのか、大野市の後期ジュラ紀～前期白亜紀の地層・化石をもとに紹介する。
協 力：福井県立恐竜博物館、大野地球科学研究会
観 覧 料：通常入館料 [大人：300円、小人（中学生以下）：無料]
展示資料：(1) 手取層群上半原層の後期ジュラ紀化石（アンモナイト、二枚貝）
(2) 手取層群下部の前期白亜紀化石（カメ、植物）
(3) 中部縦貫自動車道工事で発見された化石（植物）
入館者数：1,733人（大人 1,073人、小人 660人）



- (2) 令和7年度くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ企画展「九頭竜の手取植物群」
開催期間：7月19日（土）～11月3日（月・祝）
内 容：前期白亜紀の地層である手取層群からは、恐竜などの動物化石だけではなく、多数の植物化石が発見されている。植物化石を詳しく調べることで、当時の環境がどのように移り変わっていったのか分かる。本企画展では、大野市九頭竜エリアにおける手取層群産植物化石の研究史、最新の研究成果について紹介する。
展示資料：林谷の手取層群産出の脊椎動物、貝類、植物化石
田茂谷の手取層群産出の脊椎動物、貝類、植物化石
協 力：福井県立恐竜博物館

令和7年度 主な開催予定企画展について

- ・伊藤慎蔵生誕200年記念企画展「蘭学の牽引者 伊藤慎蔵」

会 期：5月31日（土）～6月22日（日）

目 的：令和7年は伊藤慎蔵が生誕して200年の節目に当たる。これに合わせ、適塾塾頭から大野藩洋学館の教授となった伊藤慎蔵に関する企画展を開催することで、大野藩の蘭学の取り組みを紹介する。

入館料：大人300円、中学生以下 無料

関 連：ギャラリートーク

開催日時：6月15日（日） 午前10時30分～

参加費：無料（ただし入館料は必要）

協 力：大阪大学適塾記念センター

- ・太郎兵衛火事250年記念 企画展「大野と火事（仮称）」

会 期：6月14日（土）～11月16日（日）

目 的：安永4年（1775）の太郎兵衛火事250年を記念し、大野で起きた火事に関する歴史やそれに伴う町の変化、大野において使われた消防の道具を紹介することで、昔の生活や郷土の歴史への興味・関心を高めることを目的とする。

入館料：大人300円、中学生以下 無料

関 連：大野市博物館講座

開催日時：4月12日（土） 午後1時30分～午後3時

タイトル：大野と火事

講 師：田中孝志（当課指導学芸員）

参加者：13人

大野市博物館講座（史跡めぐり）

開催日時：6月14日（土） 午後1時30分～午後4時

タイトル：防火の史跡

講 師：田中孝志（当課指導学芸員）

参加費：600円

- ・市民所有の文化財展（テーマ未定）

【参考】令和6年度 金森宗和時代の茶道具

令和5年度 蓮光寺の寺宝

大野藩校洋学館教授・伊藤慎蔵生誕200年記念企画展

けんいんしゃ

いとう

しんぞう

蘭学の牽引者

*Een koploper in de
Nederlandse studies*

伊藤慎蔵

協力：大阪大学適塾記念センター

慎蔵

伊藤慎蔵自書（藤野升八郎宛て書状より）

蘭大先生伊藤慎蔵といふ人
当時 蘭学においては
日本一の先生の由に候

（大野藩蘭学流行聞書（個人蔵））（抜粋・一部改）

大雪降積難渋無限辺土に候ところ
其の義も厭い申されず
遠路遥かに相越され 実に感悦の至り
謝辞申し尽し難く候

（辞令（柳廻社蔵））（抜粋・一部改）

「医譚」16号より

令和7年

5月31日（土）～6月22日（日）

大野市歴史博物館

【大野市教育理念】明倫の心を重んじ 育てよう 大野人



幕末の藩主・土井利忠は、弱体化した大野藩を立て直す方法は勉強しかないと考え、藩校を建てました。

蘭学研究を進めるために教師として招いたのが、大坂の適塾で塾頭を務めていた伊藤慎蔵でした。



「医譚」16号より

【 展 示 資 料 】

- 「柳陰紀事」(柳廼社 蔵)
土井利忠(大野藩主)の伝記
- 「適々齋塾姓名録(複製)」
(大阪大学適塾記念センター 蔵)
適塾の在籍者名簿
- 「藩庁記録」(柳廼社 蔵)
伊藤慎蔵に関する記録
・大野藩に到着(複製)
・辞令
・緒方洪庵の子の入学(複製)
- 「大野藩蘭学流行聞書(複製)」(個人 蔵)
伊藤慎蔵に対する領民の反応
- 「藤野升八郎宛て書状」(館蔵)(市指定文化財)
伊藤慎蔵から、友人・藤野升八郎への手紙
・大坂から両親を招き寄せたことの報告
・大野藩に対する愚痴
・両親が大坂に戻ったことの報告
- 「内山良休宛て緒方洪庵書状」(個人 蔵)
緒方洪庵が息子二人を勤当する書状
- 「颶風新話」(柳廼社 蔵)
伊藤慎蔵が翻訳した、気象学に関する書籍

【 関 連 す る 行 事 】

○ギャラリートーク(展示解説)

日 時：6月15日(日)
午前10時30分～(30分程度)

説 明 者：田中孝志(当展担当学芸員)

会 場：大野市歴史博物館 展示室

参 加 費：無料(ただし入館料は必要)

事前申込：不要。当日、会場にお集まりください。



藤野升八郎宛て書状「飲中の話」

【 関 係 す る 情 報 】

○大阪大学適塾記念センター企画展

適塾記念センター(大阪市中央区)でも、伊藤慎蔵を紹介する企画展を開催しています。

展 示 名：シリーズ生誕200年記念～その肆
おおむらますじろう みつくりしゅうへい
大村益次郎・伊藤慎蔵・箕作秋坪

開催期間：5月27日(火)～6月8日(日)



提供：適塾記念センター

【開催期間】令和7年5月31日(土)から6月22日(日)まで
【休館日】無休
【開館時間】午前9時から午後4時まで(日曜・祝日は午後5時まで)
【入館料】大人300円、中学生以下 無料

大野市歴史博物館

大野市天神町2-4
電話 0779-65-5520

国指定天然記念物「専幅寺の大ケヤキ」再生事業

1 事業の成果（令和6年12月27日完了）

- ・指定木周辺の土壌が固く通気透水性が悪いため樹勢の衰えが生じていることから、指定木周辺の土壌を水圧穿孔法を用いてほぐした。
- ・木の組織が壊死していた根元から樹幹部分を治療した。
- ・指定木を保護するため樹上部に設置されている屋根を支える支柱が腐食していたため、全支柱を取り替えた。
- ・見学者の安全と施設の破損を防ぐため、4箇所の大きな枯れ枝を剪定した。



完了後（境内側）



完了後（道路側）

2 今後の管理について

- ・土壌の柔らかさを保つため、施工箇所への立入を少なくする。
- ・土壌に肥料をまかない（栄養を与えすぎると葉が大きくなり重くなる、風を受けやすくなるため、枝が折れやすくなる）。落ち葉を敷くなど自然の肥料を使い、根に栄養を与えるようにする。
- ・今回の土壌改良に意味があったのかは、5年後、10年後に成果が見えてくるため、定点観察を行う枝を一つ決めて、1年ごとに葉の数や大きさについて記録をとる。

【県指定文化財 ※令和6年5月14日指定】

^{しもうちなみ}
 下打波のトチノキ・ケヤキ・イタヤカエデ^{ぐんせいりん}群生林

- (1) 所在地 大野市下打波 2 5 字上ノ山 1—1 の一部
 (2) 所有者および管理者 下打波生産森林組合
 (3) 面積 約 6,400 m²
 (4) 由来・特徴

この群生林は国道 158 号沿いの福井県大野市勝原から約 4 km 上流の打波川沿いにある下打波地区の裏山斜面に分布するトチノキ・ケヤキ・イタヤカエデの混交林である。この地区の山林は保安林に指定され、明治のころからトチノキなど有用林について保護対策が採られてきたという。これらは地域住民の生活に密着した資源として保護され、乱伐されることなく保全されてきたのである。

この地区の森林帯は温帯林に属し、トチノキを中心とした落葉広葉樹林で占められている。冬期は降雪量が多く、立木の折損被害もたびたび発生している。

土壌は褐色森林土壌の BD 型（適潤性褐色森林土壌）で、土壌水分を含んだ肥沃な土層を保持し、ケヤキ、トチノキ、スギの適地となっている。

調査区内は樹高約 30m のトチノキ、ケヤキ、イタヤカエデの高木で占められ、その本数密度は、トチノキ 26 本、ケヤキ 18 本、イタヤカエデ 16 本、計 60 本で、トチノキが全体の 43% を占めている。幹の大きさは平均根元直径（地上高 0.2m）で示すと、トチノキ 130 cm、ケヤキ 88 cm、イタヤカエデ 54 cm で、特にトチノキの太さは巨大である。次にこの群生林の階層構造についてみると、3 樹種はともに高木層の^{りんかん}林冠を形成し、なかでもトチノキの優占度が最も高い。

^{あこうぼく}亜高木層はイタヤカエデ、チドリノキが占め、低木層にはユキバタツバキとチャボガヤが密生し、斜立した形態で斜面を広く覆っている。草本層にはヤマアイ、ジュウモンジシダ、フツキソウが高い密度で出現し、これらの構成種からこの群落は植物社会学的にはジュウモンジシダートチノキ群集に属するとされている。このような巨木の揃った群生林は県下ではこのほかに見られず学術参考林として価値が高く、福井県指定天然記念物にふさわしいと考える。



写真① トチノキの巨木



写真② 3 樹種の混交状況



写真③ トチノキの群生状況

令和6年度 結の故郷伝統文化「おおの遺産」認証一覧

認証日：令和7年2月18日

認証番号	分野	団体	名称	由来・特色
26	年中行事	上据区	上据区の田休み	<p>集落内の浄土真宗寺院の脇陣に十一面観音を安置し、住民が主動して管理する。</p> <p>一般に一向専修を宗旨とする浄土真宗寺院において密教系の仏尊が安置され、住民によって維持管理がされているところに、教義より住民の信仰心への寄り添いが窺われる。</p>
27	年中行事	太田区	太田白山神社の注連縄づくり	<p>白山神社の秋祭りに際し、住民が共同して注連縄を綯う。</p> <p>かつては住民が稲わらを1束ずつ持ち寄った。これは各家の穀霊を集合させて、集落全体の豊作を祈願していたと思われる。</p> <p>現在は稲わらの持ち寄りはないが、作業を共同するところに、かつての痕跡を認めることができる。</p>
28	年中行事	元町1区2班	元町1区2班の火伏のご祈祷	<p>住民が持ち回りで「宿」をつとめて火伏の祈祷を行い、各家の代表が集まる。</p> <p>城下町西端に位置する当地区は、町人地の出火が武家地および城内に延焼することがないよう、江戸時代を通じて防火対策が徹底されてきた。宿役として全住民が当事者意識を持つところに、防火意識の維持が認められる。</p>



上据区の田休み



太田白山神社の注連縄づくり



元町1区2班の火伏のご祈祷

おおの遺産一覧

認証 番号	分野	名 称	団体等名
1	生活	七間朝市	大野市朝市出荷組合
2	伝統芸能	蕨生 里神楽	里神楽実行委員会
3	伝統芸能	篠座神社の里神楽・豊栄舞	篠座神社獅子舞保存会
4	伝統芸能	木本領家里神楽	木本領家区
5	年中行事	木本区初午だんご撒き	木本区
6	年中行事	篠座神社の福もちまき	篠座神社総代会
7	年中行事	篠座町の旧家が持ち回る神明講	篠座神社と篠座町（旧家23軒）
8	年中行事	上大納左義長	上大納区
9	年中行事	尾永見伊勢講	尾永見神社
10	年中行事	鍬掛伊勢講	鍬掛伊勢講保存会
11	景観	行人岩	大矢戸区
12	年中行事	伊勢講	土布子区
13	年中行事	下打波白山神社・中神神社の祭礼	下打波区
14	伝統芸能	稲郷里神楽	稲郷青年会
15	年中行事	陽明町一丁目1区の不動明王祭	陽明町一丁目1区
16	年中行事	明倫町1区による乳地蔵のご祈祷	明倫町1区
17	生業	穴馬紙	穴馬紙大すきの会
18	伝統芸能	奥越太鼓	奥越太鼓保存会
19	生業	アジメ漁	奥越漁業協同組合「アジメ漁」保存研究会
20	年中行事	お箸始め	川合区
21	年中行事	深井の講	深井区
22	年中行事	新四国八十八ヶ所お砂踏み法要	宗教法人大宝寺
23	年中行事	水神さんの参詣	小矢戸区
24	年中行事	鉛筆供養	中荒井町1丁目区
25	年中行事	阿難祖八坂神社の祭礼	阿難祖領家区・阿難祖地頭方区
26	年中行事	上据区の田休み	上据区
27	年中行事	太田白山神社の注連縄づくり	太田区
28	年中行事	元町1区2班の火伏のご祈祷	元町1区2班